

2022年3月期第3四半期の連結ソルベンシー・マージン比率の公表について

2022年3月期第3四半期の当社連結ソルベンシー・マージン比率（保険持株会社およびその子会社等に係る保険金等の支払能力の充実の状況）を、下記のとおり算出しましたのでお知らせします。

記

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2021年12月31日)
(A)連結ソルベンシー・マージン総額	5,828,058	6,091,946
資本金等	955,539	1,186,389
価格変動準備金	128,006	135,692
危険準備金	59,927	60,771
異常危険準備金	1,041,989	1,102,155
一般貸倒引当金	2,964	2,716
その他有価証券評価差額金・繰延ヘッジ損益(税効果控除前)	2,447,869	2,405,169
土地の含み損益	263,397	260,302
未認識数理計算上の差異及び未認識過去勤務費用の合計額(税効果控除前)	△ 19,187	△ 16,971
保険料積立金等余剰部分	302,741	296,676
負債性資本調達手段等	300,000	300,000
保険料積立金等余剰部分及び負債性資本調達手段等のうち、 マージンに算入されない額	—	—
少額短期保険業者に係るマージン総額	406	429
控除項目	145,434	163,352
その他	489,837	521,967
(B)連結リスクの合計額 $\sqrt{(\sqrt{(R_1^2 + R_2^2)} + R_3 + R_4)^2 + (R_5 + R_6 + R_7)^2} + R_8 + R_9$	1,300,045	1,381,683
損害保険契約の一般保険リスク(R ₁)	374,354	393,650
生命保険契約の保険リスク(R ₂)	31,951	33,195
第三分野保険の保険リスク(R ₃)	44,779	48,439
少額短期保険業者の保険リスク(R ₄)	10	10
予定利率リスク(R ₅)	23,209	22,623
生命保険契約の最低保証リスク(R ₆)	2,206	2,183
資産運用リスク(R ₇)	880,380	928,320
経営管理リスク(R ₈)	32,515	34,487
損害保険契約の巨大災害リスク(R ₉)	268,884	295,938
(C)連結ソルベンシー・マージン比率 [(A)/(B)×1/2]×100	896.5%	881.8%

- (注) 1. 「連結ソルベンシー・マージン比率」とは、保険業法施行規則第210条の11の3および第210条の11の4ならびに平成23年金融庁告示第23号の規定に基づいて算出された比率です。当該比率は、行政当局が保険会社グループを監督する際に活用する客観的な判断指標のひとつですが、その数値が200%以上であれば「保険金等の支払能力の充実の状況が適当である」とされています。
2. 当第3四半期連結会計期間については、計算の基礎となる値の一部について当中間連結会計期間の数値を使用するなど、一部簡便的に算出しています。

以上